

令和5年度アクション・プラン【北播磨県民局】

I 目指す姿

北播磨地域は、豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化に恵まれ、高速道路の結節点という交通の要衝を形成するなど高いポテンシャルを有している。これらの地域特性を最大限に活用し、①2025大阪・関西万博を見据えた北播磨の魅力創出、②北播磨の強みを活かした「農」と「食」の創出、③北播磨を支える人や交流基盤づくり、④誰もが安全安心に暮らせる北播磨の実現、を柱に施策を展開し、新型コロナウイルスの影響などにより地域を覆う閉塞感を打開し、活力と元気に満ちた北播磨づくりを推進する。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
農産物直売所の販売額		前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円	前年度+1億円 (5億円増加/5年間)
	31.9億円(H30)	32.8億円	33.8億円	R5.6頃判明		
新規就農者数		30人	30人	30人	30人	30人 (累計150人/5年間)
	19人(H30)	31人	34人	R5.8頃判明		
観光客入込数		14,355千人	14,640千人	14,920千人	15,200千人	15,500千人 (H30の10%増)
	14,045千人(H30)	10,809千人	11,396千人	R5.9頃判明		
若年層(20~39歳)の転出入数		△400人	△300人	△200人	△100人	±0人
	△487人(H30)	△994人	△1,194人	△434人		
地場産業の生産額		960億円	960億円	960億円	960億円	960億円 (H30を維持)
	957億円(H30)	846億円	869億円	R5.9頃判明		
住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合※		63%	64%	65%	66%	67% (H30の10%増)
	60.7%(H30)	62.6%	65.7%	53.6%		
住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合※		34%	34.8%	35.5%	36.2%	37% (H30の10%増)
	33.5%(H30)	35.2%	39.8%	項目廃止		
お住まいの地域では、自慢したい地域の宝(風景や産物、文化など)があると思う人の割合		43.6%	44.4%	45.3%	46.1%	47% (H30の10%増)
	42.7%(H30)	46.8%	42.8%	37.8% 項目追加		

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

II 取組の方向性

(地域の元気づくり)

北播磨地域は、日本一の酒米「山田錦」をはじめ、「黒田庄和牛」、「播州百日どり」、「ふるさと巻き寿司」などの豊かな「農」と「食」、全国疏水百選に選ばれている「東条川疏水」、日本遺産に認定された播州清水寺や一乗寺などの歴史文化財、播州織や三木金物などの地場産業、といった様々な地域資源を有している。これら地域資源は、令和7年度に開催される大阪・関西万博に向け、県を挙げて取組を進める「ひょうごフィールドパビリオン」に適しており、資源のさらなる磨きあげ、テーマ等に沿ったコンテンツの組み合わせなど、北播磨の魅力を地域内外に発信し、体験してもらうことにより、交流人口・関係人口の拡大を図り、地域の元気づくりにつなげる。

(人口対策)

北播磨地域の人口は、平成12(2000)年の298,390人をピークに減少に転じ、人口減少に拍車がかかっている。一方で、コロナ禍を経た移住ニーズの高まりもみられることから、地域の特性を活かし、定住人口の減少抑制に向け、若者の雇用の創出や移住の促進を図り、防災・子育て・医療・福祉など安全安心に暮らすことができるまちづくりを進め、地域の元気づくりを進めるなかで取り組む北播磨の未来を担う人材育成を通じて、シビックプライドの醸成を図る。

Ⅲ 具体的な取組

(地域の元気づくり)

1 2025 大阪・関西万博を見据えた北播磨の魅力創出

令和5年度に本番を迎える兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)、さらには2025大阪・関西万博、2030年に予定されている神戸空港の国際化を見据え、北播磨の豊かな自然、多彩な農畜産物、伝統ある産業、歴史・文化等の地域資源を磨きあげ、地域内外に魅力を発信し、北播磨への理解を深め、交流人口や関係人口の拡大を図る。

【主な事業】

①北播磨におけるフィールドパビリオンの推進事業《新規・3,000千円》

- ・新たな地域資源の発掘やイベントの開催、情報発信などに取り組む団体等を支援
- ・「東条川疏水ネットワークWEB博物館」開設に向けた展示内容の検討

②兵庫DC、アフターDCに向けた北播磨の魅力発信・おもてなし力の向上事業《6,000千円》

- ・兵庫DCに合わせて行う観光イベントやアフターDCに向けた観光ルートの開発等を支援
- ・ARを活用したスタンプラリーやVR(仮想空間)での北播磨の魅力疑似体験等の実施

③みんなで選ぶ北播磨PRマテリアル総選挙事業《新規・1,160千円》

- ・北播磨をPRする広報用資材の公募を実施
- ・公募で選定されたマテリアルを活用した北播磨の効果的なPRを実施

④五感で楽しむ北播磨の魅力体験事業《2,750千円》

- ・環境体験やインフラ建設現場等の見学等を組み合わせた魅力体験ツアーを実施
- ・自然や食を楽しむサイクリングイベントの実施

2 北播磨の強みを活かした「農」と「食」の創出

北播磨の強みである酒米「山田錦」、地域特産の「ぶどう」・「黒田庄和牛」・「播州百日どり」、ふるさとの味「巻き寿司」等農産加工品などのブランド力の強化を図り、持続可能な「農」と「食」を創出する。

【主な事業】

①地域の宝!「山田錦」ブランド力向上事業《2,420千円》

- ・山田錦の日本農業遺産への認定に向けた取組や山田錦語り部による講習会の開催

②北播磨「山田錦」特選日本酒販売促進事業《4,000千円》

- ・北播磨産山田錦で醸す日本酒のオリジナル商品の開発、コンテストへの出品等を支援

③新産地育成に向けた新品種導入チャレンジ事業《2,660千円》

- ・黒枝豆新品種「ひかり姫」、いちごの新品種の産地化を促進

④北播磨「農」と「食」の魅力発信事業《7,650千円》

- ・北播磨の「農」と「食」を体験できるイベントの開催
- ・市町や団体による地域ぐるみの取組を支援

(人口対策)

1 北播磨を支える人や交流基盤づくり

若者による地域づくり活動への支援やふるさと情報の発信等により、ふるさと意識の醸成を図る。また、コロナ禍で生まれた地方回帰の流れをうまく取り込み、北播磨地域への移住・定住の促進、北播磨の未来を担う多様な人材の育成とともに、地域鉄道の利用促進や社庁舎周辺地域の活性化などによる交流基盤づくりを進める。

【主な事業】

①若者の北播磨企業への定着促進事業《2,400千円》

- ・大学と北播磨地域企業との就職情報交換会の開催
- ・UJIターン者の体験談動画の制作・発信

②北播磨地域への移住促進事業《3,392千円》

- ・インターネット広告による情報発信
- ・先輩移住者の体験談動画の制作・発信

③地域鉄道の利用促進・沿線地域の活性化事業《2,500千円》

- ・JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道利用促進協議会の運営
- ・JR加古川線の維持・利用促進に向けた駅の活性化・沿線にぎわいの創出

④社庁舎周辺地域の賑わい創出事業《新規・3,500千円》

- ・社庁舎・加東バスターミナル周辺での親水空間等の創出による地域活性化構想を策定

2 誰もが安全安心に暮らせる北播磨の実現

住民、事業者、行政が力を合わせ、地域の誰もがいきいきと暮らすため、防災意識の高揚や地域一帯となった不法投棄防止への取組などを通じ、安全で安心に暮らすことができる「北播磨」を実現する。

【主な事業】

①北播磨圏域認知症対策の推進事業《1,352千円》

- ・地域包括支援センター等関係機関との連携を促進

②自主防災力の向上事業《700千円》

- ・自主防災組織を対象に、避難所運営に係る体験型研修会を開催

③不法投棄・不適正保管への地域一体となった取組の強化事業《3,000千円》

- ・不法投棄防止地区の拡充、不法投棄防止活動推進員の活動支援

④多文化共生「みんなきたはりすと」推進事業《新規・500千円》

- ・LINEを用いた外国人向け情報発信ツールの開発
- ・日本人サポーターの育成